

## 今週（7月10日から7月14日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、日銀当座預金残高が短国・国債の発行や、税揚げ要因から357兆円後半～361兆円前半で推移する中、無担保コールO/N物は積みの最終週となったことから堅調に推移した。

無担保コールO/N物は積み最終週であることに加え、10日のTB6M発行超過と30Y発行、12日の夏季賞与に伴う源泉税揚げなどで資金不足感が強く、週後半にかけて大手行を中心に調達を強める展開となった。無担保コールO/N加重平均レートは徐々に上昇していった。14日の積み最終日は、次の積み期間に掛かる取引となったものの、取り調整の強まりから堅調に推移したターム物は、週を通してショートタームで▲0.04%近辺の出会いが見られた。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは、13日に1W・8,000億円でオファーされ、落札額1,591億円（期落ち額1,590億円）の札割れとなった。

### ●レポ市場

今週のGC O/N物は▲0.095～▲0.055%程度の水準で推移した。10日のS/N（7/12-7/13）から12日のS/N（7/14-7/18）は▲0.090～▲0.080%程度での出会い。13日のT/N（7/14-7/18）段階では積み最終日にかかることでオファーが増加し、▲0.075～▲0.055%と目線を切り上げての出会いとなった。14日のS/N（7/19-7/20）は短国買入オペの影響からレートを下げ、▲0.095～▲0.090%の出会いとなった。

個別銘柄では5Y130～132、10Y333～347、20Y155～161などにビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は全般的に閑散地合いの中、輪番オペの増額や先週の短国買入オペが予想よりも多かったことなどから業者の在庫が軽く、海外勢の買いが見られたこともあり、堅調に推移した。

13日に実施された3M物の入札は、WI取引で▲0.105%から▲0.113%まで買い進まれる中、平均落札利回▲0.1082%・按分落札利回▲0.1033%と、しっかりの結果となった。その後のセカンダリー市場では、3M物で▲0.109～▲0.107%での出会いが見られた。

14日には短国買入オペが事前予想通りの7,500億円で実施され、平均落札利回較差▲0.002%、按分落札利回較差▲0.003%（按分比率40.8%）と、落ち着いた結果となった。

### ●CP市場

今週のCP市場は週間償還総額3,500億円弱に対して、週間発行総額は6,000億円程度となった。卸売・鉄鋼・建設等の業態において大型発行があったため、発行残高は順調に積みあがっているものの、月の前半ということもあって盛り上がりには欠け、比較的落ち着いたマーケットとなった。発行レートについては、4日にオファーされたCP買入オペの結果（平均0.006%、按分▲0.001%）を受けてか業者の買いニーズは弱く、極浅いマイナスが見られたものの、概ね0%で決着した。

CP等買入オペは12日にオファー額3,500億円で実施された。入札結果は平均落札レート0.009%・按分レート▲0.001%となった。平均レートは一部の高レート銘柄が応札可能であったため押し上げられた。前回に引き続き応札総額は落札総額の3倍強と、在庫の入れ替えニーズの強さが窺えた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
7/10（月）	20,080.98	0.090	114.10	△ 0.050	△ 0.091	3,593,400
7/11（火）	20,195.48	0.090	114.18	△ 0.048	△ 0.089	3,612,000
7/12（水）	20,098.38	0.085	113.47	△ 0.044	△ 0.082	3,602,400
7/13（木）	20,099.81	0.075	113.18	△ 0.040	△ 0.060	3,577,000
7/14（金）	20,118.86	0.075	113.50	△ 0.042	△ 0.088	3,590,900

## 来週（7月18日から7月21日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/17 (月)	海の日				6月のユーロ圏消費者物価指数改定値
7/18 (火)		TB1Y 23,000億円 7/20発行			6月の英消費者物価指数
7/19 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)	TB3M 44,000億円 7/24発行	流動性供給 3,000億円 7/21発行	交付税借入 10,500億円 7/27借入	6月の米住宅着工件数
7/20 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 6月の貿易統計(財務省 8:50)				ECB定例理事会(金融政策発表)
7/21 (金)		流動性供給 5,500億円 7/25発行			

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/17 (月)	海の日								
7/18 (火)	400	▲ 28,500	▲ 28,100	全店共通 CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 1,600 ▲ 500 300 700	1,600 3,500 300 700	4,000	▲ 24,100	TB3M発行▲44000償還43300 2Y発行▲22000償還4200 20Y発行▲10000 個人向け3・5・10Y発行▲3300 個人向け3・5・10Y償還2400
7/19 (水)	1,000	5,000	6,000	国債買入 短国買入		9,100 7,500	16,600	22,600	
7/20 (木)	▲ 1,000	▲ 16,000	▲ 17,000				0	▲ 17,000	TB1Y発行▲23000償還2100 変動15Y償還6800 エネルギー対策借入▲7000償還6000
7/21 (金)	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 4,000	被災地支援	▲ 1,100	1,100	0	▲ 4,000	流動性供給▲3000
週間合計	▲ 1,600	▲ 41,500	▲ 43,100	—	▲ 2,500	23,100	20,600	▲ 22,500	

7/18は日銀予想、7/19以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新しい積み期となることで、落ち着いた展開が予想される。  
レボ市場は、積み期序盤を迎えた投資家の動向次第であるが、▲0.120～▲0.050%程度での推移が予想される。  
短国市場は、18日に1Y物、19日に3M物の入札が実施される予定となっている。海外勢の買いが見られていることもあり、▲0.10%台での堅調な入札が予想される。1Y物に関しては、短国買入オペへの期待もあることから、按分レートが注目される。  
CP市場は、主要なイベントは特段無く、落ち着いた展開が続くと予想される。

主要なイベントとしては、国内では19日～20日に日銀金融政策決定会合、海外では17日に中国4-6月期のGDP、6月のユーロ圏CPI改定値、18日に6月の英国CPI、20日にECB定例理事会等が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。